

第2学年 英語科 学習指導案

日 時：平成30年10月4日（木）5校時

学 級：2年A組 男子9名 女子9名 計18名

授業者：千葉 美恵

1 単元名 PROGRAM 6 A Work Experience Program (SUNSHINE ENGLISH COURSE 2)

2 単元について

(1) 教材観

本単元は、職場体験が話題となっており、由紀と武史が自分の訪問した職場や学んだこと等をウッド先生に話し、自分の将来の夢や自分が夢を実現するために必要なことをクラスで発表する内容である。英語の表現として、不定詞の名詞的用法、副詞的用法、形容詞的用法の3つが新出事項として扱われている。本単元で扱う表現活動は、学習指導要領において、「話すこと」の(イ)「自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること」、「書くこと」の(エ)「身近な場面における出来事や体験したことについて、自分の考えや気持ちなどを書くこと」に関連しており、「My Project 5 将来の夢を語ろう」においても大いに活用できる表現を習得することができる。また、本校の研究テーマ「言語活動の充実」に関連からも、自分自身のことを積極的に相手に伝えようとする態度を育成し、情報を発信する英文作りや主体的な表現活動につながる教材である。

(2) 生徒観

学習に前向きに取り組み、家庭学習の習慣も身につけている生徒が多い。授業では、1年生の頃から帯活動や音読活動でペア活動やグループ学習を積極的に取り入れてきた。こうした活動の中で、少しずつ理解力が高い生徒が分からない生徒に教え、共に学び合う場面が自然に見られるようになってきた。しかし、自分の考えを限られた時間内に整理してまとめたり、表現したりする活動では、依然課題が見られる。間違いを恐れずに、自分の考えを表現しお互いに伝え合う言語活動をより充実させていきたい。学習活動では、目標時間を設定し、やるべきことを明確に掲示することを通して、生徒が確実に課題解決に向けて取り組めるよう指導方法を工夫している。

(3) 指導観

本単元の学習では、既習文法事項の不定詞の名詞的用法に加え、副詞的用法（目的や理由）を扱う。自分が行きたい場所について述べる表現活動の際に自己決定する場面を設け、さらに行きたい理由を付け加えることで思考力・判断力を身につけさせたい。また、生徒が普段の生活で遭遇する場面でこれらの表現が必要であることを実感させながら、言語活動の場면을工夫し交流させることで表現力を身につけさせたい。

3 単元の目標

(1) 自分自身の体験や考えについて英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。 【外国語表現の能力】

(2) 教科書本文を参考にして、紹介文を書いて交流することができる。

【外国語表現の能力】

(3) 積極的にコミュニケーションを図り、活動に参加しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

(4) 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法を理解している。

【言語や文化に対する知識・理解】

4 指導計画

時間	学習活動	評価規準
1	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を用いた「～したい」の表現の仕方を知る。 将来の夢について「I want to be～」の表現を使い交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を理解している。 【言語や文化に対する知識・理解】 自分自身の考えを英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。 【外国語表現の能力】
2	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を通して不定詞の名詞的用法の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法を理解している。 【言語や文化に対する知識・理解】
3 本時	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法を使い、自分やペアが行きたい場所についてペア及びグループで交流する。 旅行の目的について「I want to～」に加え、不定詞の副詞的用法の表現を使い交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にコミュニケーションを図り、活動に参加しようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 自分自身の考えを英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。 【外国語表現の能力】
4	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を通して不定詞の副詞的用法の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法を理解している。 【言語や文化に対する知識・理解】
5	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法を用いた「～するための・・・」「～すべき・・・」の表現の仕方を知る。 「～するための・・・」「～すべき・・・」の表現を使い交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法を理解している。 【言語や文化に対する知識・理解】 自分自身の考えを英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。 【外国語表現の能力】
6	<ul style="list-style-type: none"> 教科書本文を通して不定詞の形容詞的用法の使い方を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法を理解している。 【言語や文化に対する知識・理解】
7	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の名詞的用法・副詞的用法・形容詞的用法を使い、自分の職場体験について紹介する英文を書いて交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の体験について英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。 【外国語表現の能力】 教科書本文を参考にして、紹介文を書いて交流することができる。 【外国語表現の能力】

5 本時の指導

(1) 目標

- 自分自身の考えを英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝え合うことができる。
- 積極的にコミュニケーションを図り、活動に参加しようとしている。

(2) 評価規準

評価の観点	評価規準	
	おおむね満足できる (B)	努力を要する生徒への手立て
外国語表現の能力	<ul style="list-style-type: none"> (不定詞の副詞的用法を用いて) 自分自身の考えを英語で表現し、その内容をお互いに分かりやすく伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の副詞的用法のポイントについて再確認し、ヒントにさせる。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 積極的にコミュニケーションを図り、活動に参加しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導をし、活動が停滞している生徒には臆せず活動に取り組めるよう支援する。

(3) 研究主題との関わり

本単元では、言語活動を「③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする」ととらえた。学習した不定詞の名詞的用法(～したい)を理解した上で既習文法「I want to go to～」を使って自分が行きたい場所を自己決定し、その理由を考えお互いに伝え合うことが言語活動である。

本時では、大きく2つの関わり合いの場面を設定する。1つ目は、ペアでやりとりをし、自分の意見を交流し合う場面である。ここでは不定詞の副詞的用法のパターン練習を通して基礎基本の定着を図ることが目的である。2つ目は、個の意見を班や学級全体で伝え合う場面である。個の意見を伝え合い、班の中でのやりとりを通して出てきた意見の価値付けをし、その良さを確認することが目的である。さらに、全体への発表を通して理解を深めることで言語活動の充実を図りたい。

(4) 本時の展開 ※ (言) → 中心となる言語活動

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点 (◎評価)
導入 10分	1 Greetings	1 T: I went to Morioka last weekend. Where did you go last weekend? S: I went to ~.	<ペア活動> ・元気よく声がでているか
	2 Review Interview	2 不定詞(名詞的用法)の復習をする Q&A T: I want to go to Tsukiji on our school trip. Where do you want to go on your school trip? S: I want to ~. ・教師のモデル対話から新文型を導入し内容を推測させる	<ペア活動>
	3 Goal	【Goal】 修学旅行で行きたいオススメスポットについて、目的を含めて紹介し、交流しよう	
展開 32分	4 Practice (1)Speaking	4 ・英文の構造に気をつけさせる ・説明はできるだけ短くして、練習を通して言い方や使い方に慣れさせていく ・ペアで行きたい場所とその目的を交流し合う (言) ・不定詞(副詞的用法)を使って自分が行きたい・訪れたい場所を選び、その理由(3文)をお互いに交流する ・自分が行きたい・訪れたい場所について、理由を含めて2文書き、自分のペアが行きたい場所・訪れたい場所を2文書く ・班で交流し合う→班で、修学旅行で行きたい場所3つとその目的を考え、選ぶ (言) ・自分とペアが行きたい・訪れたい場所とその目的を1文ずつ英語で言う	<ペア活動及びグループ活動> ◎【外国語表現の能力】不定詞(副詞的用法)を用いて自分の考えを相手に伝えることができる (方法:観察)
	(2)Pair work		
	(3)Writing		
(4)Group work	◎【関心・意欲・態度】積極的に活動に参加している (方法:観察)		
	5 Present	5 ・班別自主研修コースを発表する ・班で行きたい場所とその理由・目的を考え、全体に発表する (言)	
		【Reflection】 行動の目的を不定詞の副詞的用法で表現できる	

終 末 8 分	6 Reflection	6	・振り返りシートで確認する	・プリント
	7 次時の予告 と宿題の確認	7	・次時の内容確認と家庭学習の内容を知る	・ワーク
	8 Greeting			

(5) 板書計画

Weather, Thursday, October 4th

Today's Goal
 修学旅行で行きたいオススメスポットについて、目的を含めて紹介し、交流しよう

活動の手順
 Pair work
 1
 2
 Group work
 3
 4

A : Where do you want **to** go on your school trip?

B : Well, I want **to** go to Tsukiji . Pictures

A : Why? (do you want to go there?)

B : **To** eat *sushi*.

不定詞の役割

<自分の気持ち>~したい <行動の目的>~するため

I want to go to Tsukiji / **to** eat sushi. (私は寿司を**食べるために**築地へ行きたい)

<まとめ>振り返り

・生徒の解答例